

2017年11月

先生 各位

医歯薬出版株式会社
歯科衛生士模試係

TEL:03-5395-7630 /FAX:03-5395-7633

「平成29年度 第1回 歯科衛生士模擬試験」
訂正のお知らせ（追加）

拝啓

時下、先生におかれましてはますますご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。
弊社出版物につきましては、平素より格別なるご愛顧、ご厚情を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、標記模擬試験につきまして、追加で訂正が必要な箇所が判明いたしました。
つきましては、お手数でたいへん申し訳ございませんが、学生の方々にお知らせいただけますようお願い申し上げます（一部再案内含む）。

ご迷惑をおかけし、たいへん恐縮に存じます。お詫び申し上げますとともに、ご対応のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

訂正

【問 19】 解答に誤りがございました。

<解答・解説> (7 頁)

解答 (誤) d

(正) a

解説肢 (誤) (正)

a×→ a○

b×→ b× 小学生である。

c×→ c× 中学生である。

d○→ d× 高校生である。

⇒問 19 は、「a」を解答した場合に“正答”として扱い、採点を集計させていただきます。

<問題冊子 A> 【問 29】 (12 頁) と<問題冊子 B> 【問 188】 (32 頁) の問題が重複しておりました。(再案内)

喫煙に関するハイリスクアプローチはどれか。

- a タバコ販売時の年齢確認
- b 飲食店での分煙設備の整備
- c 歯周病患者を対象とした禁煙指導
- d 地域住民を対象とした受動喫煙についての講演会の開催

⇒問 29 は不適切問題とし採点除外とさせていただきます。

【問 176】問題文・解説に誤りがございました。

<問題冊子 A> (26 頁)

(誤) c スケーリングを中止し安定後、立位で施術を行う。

(正) c スケーリングを中止し安定後、座位で施術を行う。

⇒問 176 につきましては、厳密には問題肢「c」が不成立となりますが、「a」, 「b」が誤答肢と判断でき、消去法で回答可能なため、不適切問題とはせずに、「c, d」を正答として集計させていただきます。

<解答・解説> (59 頁)

(正) 妊娠中の歯科治療は慎重に行わなければならない。妊娠 7 か月 (妊娠中期) は安定している時期のため歯科治療を行うこともあるが、胎児が内臓や大静脈を圧迫するため診療姿勢に気をつける必要がある。水平位では主要な脈管に発育中の胎児の体重がかかるため、息苦しさを訴える場合があるため、水平位での治療が難しい場合は座位や左側を下にする側臥位で行うこともある。いずれにしても無理をせず、リラックスして行う。治療中に不調を訴えた場合には、ただちに治療を中断し、まずは安静にさせたいうえで適切な対応を行う。

文献 : Dd 隣接医学シリーズ 妊産婦と歯科治療 (デンタルダイヤモンド社) …p. 107

【問 218】解答・解説に誤りがございました。

<解答・解説> (73 頁)

解答 (誤) a, d

(正) a, c, d

解説肢 (誤) c×

(正) c○ パルスオキシメータは脈拍数と経皮的動脈血酸素飽和度を測定する器機である。患者の不具合を発見するモニタリングに用いられる器機で、必要に応じて装着する。

⇒問 218 につきましては、a, c, d すべて正解となります。設問では、「2 つ選べ」とありますので、「a, c, d」のうちどれか 2 つを選んだ場合に“正答”として扱い、採点を集計させていただきます。

<解答・解説> (再案内)

※問9 (3頁) から『疾病の成り立ち及び回復過程の促進』分野になりますが、それを示す表示が抜けておりました。適宜ご確認下さい。

疾病の成り立ち及び回復過程の促進	
9 性染色体の異常を伴うのはどれか。 a 血友病 A b ダウン症候群 c ターナー症候群 d フェニルケトン尿症	解答: c 先天異常は出生以前に病因が作用して生じる疾患であり、染色体の異常によって起こる染色体異常(配偶子病)と、遺伝子の異常(欠損・変異)によって生じる遺伝子病、胎児期に外因により生じる胎芽病や胎児病などがある。 a × 血友病 A は遺伝子の異常に基づく伴性遺伝病である。 b × ダウン症候群は常染色体の21番目のトリソミー(3本存在する)である。 c ○ ターナー症候群は女性の性染色体 XX の1つが欠損している。 d × フェニルケトン尿症は遺伝子の異常に基づく常染色体劣性遺伝病である。 文献: 最新徳科衛生士教本 病理学・口腔病理学 10-11, 17
▶ keyword: 染色体異常、性染色体	